

183

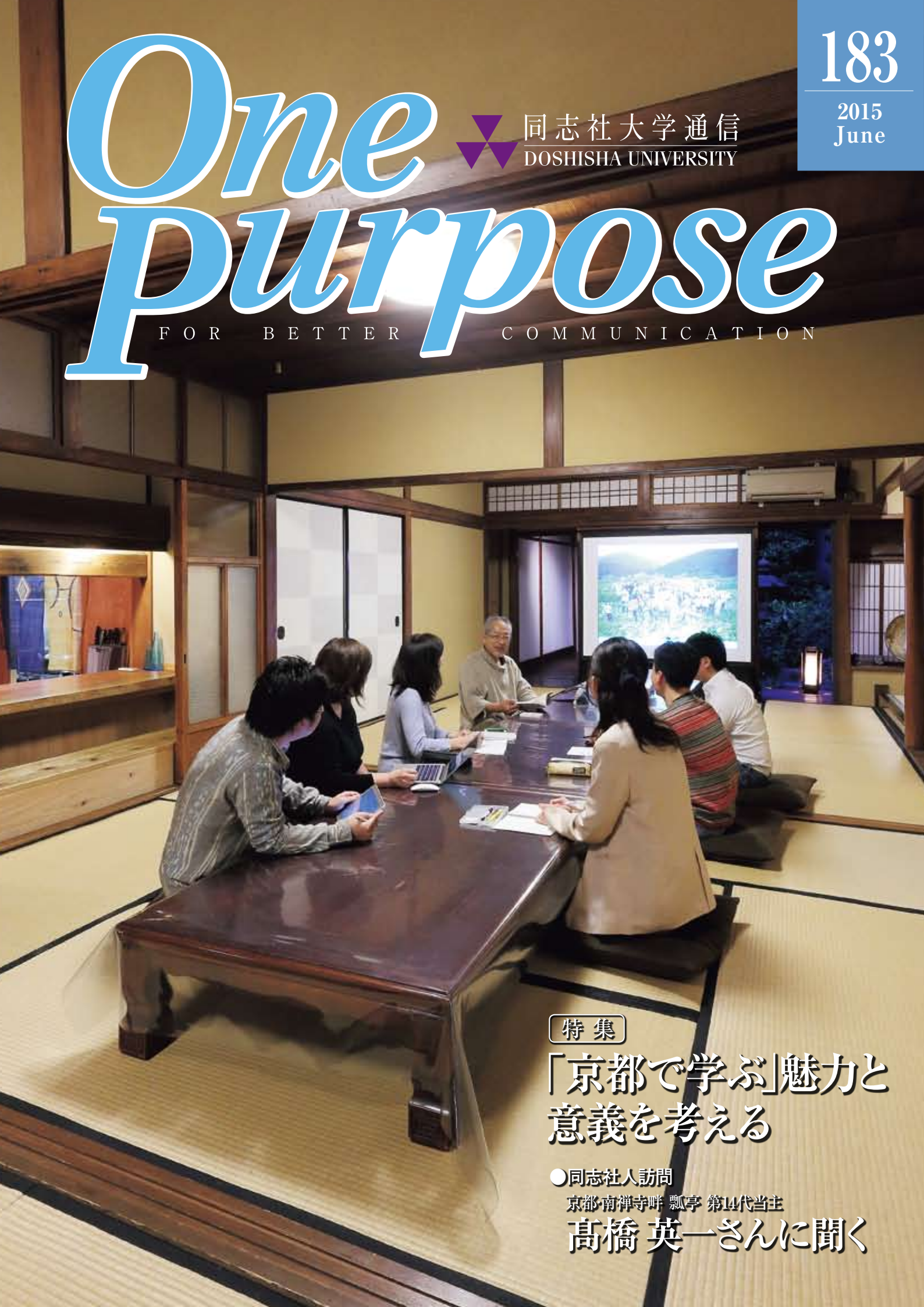
2015
June

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY



特集

「京都で学ぶ」魅力と
意義を考える

●同志社人訪問

京都南禅寺畔 瓢亭 第14代当主

高橋 英一さんに聞く

『ONE PURPOSE』は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。
ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。



特集

「京都で学ぶ」魅力と意義を考える 2

SEMINAR ～ゼミ探訪 学びの時間～ 9

生命医科学部医情報学科 脳神経行動工学研究室（飛龍・小林研究室）

同志社の研究は今 11

先端複合材料研究センター 田中 達也 理工学部機械系学科 教授

データでみる同大生の2014年度就職戦線 13

2015年度 大学予算について 15

CAMPUS NEWS 17

国立循環器病研究センターとの包括協定締結記念シンポジウム「iPS細胞時代の移植医療と生命倫理—ひと・医療・社会—」を開催／体育会表彰式／同志社社友記贈呈式・総長賞表彰式／同志社大学の募金事業／新任教員紹介

同志社京田辺会堂へのご案内 19

INTERVIEW ～同志社人訪問～ 20

京都・南禅寺畔 瓢亭 第14代当主 高橋英一さんに聞く

MY JOB, MY LIFE ～シリーズ 私と「仕事」～ 23

- ・柿本 優祐さん（2011年 商学部卒業）
- ・長野 静香さん（2010年 文学部文化史学科卒業）

ANNOUNCEMENT 25

MY PURPOSE ～挑戦する人～ 27

- 『響け！ユーフォニアム北宇治高校吹奏楽部へようこそ』
～プロデビューして2作目の小説がTVアニメの原作に～
- ・武田 綾乃さん（文学部美学芸術学科 4年次生）



表紙の情景 [江湖館]

「江湖館」は、同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーション研究コースにおける学外社会実験施設として、2006年4月に烏丸丸太町の近くの開館しました。昭和初めに建設された法衣店を営む町家を改装し、実際に炊飯できる竈（おくどさん）があります。一方でインターネット放送用スタジオ等、最新機器も備えています。こちらでは大学院生および教員によるさまざまな社会活動が行われています。

「京都で学ぶ」魅力と意義を考える

同志社大学に入学してくる学生には、

その志望理由に「京都の大学」であることを

挙げる学生が少なくない。

京都という町は、歴史や文化など

様々な面で多くの日本人の心を

惹きつける魅力を持っている。

そこで過ごす4年間に、どんなものを見て、

どんなことを知り、どんな体験をするかで、

学生生活の中身は大きく変わる。

今、京都という町の魅力、

京都で暮らす意義、そこから学ぶべきことを

考えてみたい。



同志社大学生と京都、 その親密なる関係性について

歴史的に京都の商家の子弟を数多く受け入れてきた同志社大学は、京都にある大学の中でも特に地元との結びつきが深い。他方、京都で学ぶことを目標に勉学に励んできた地方の学生にとっては、夢をかなえる対象の一つでもある。京都の人たちに「同やん」と呼ばれて親しまれてきた同志社大学生は今、京都で暮らし、学ぶことにどんな思いを持ち、京都の町とどのように関わっているのだろうか。



「学生の町」京都で

川崎 ●長谷川さんは神奈川、田中さんは鳥取のご出身ですが、関西以外から京都に来る人たちにとって、京都という町はどういうイメージなのでしょう。

田中 ●大学入学前に京都に来たのは修学旅行でした。長い歴史の町、古い町並みが残っている町で暮らすというより、観光で訪れるところという認識でした。

長谷川 ●私も修学旅行で来たところというイメージでした。

川崎 ●京都には大学の数が人口比で見てもかなり多くあり、そこに学生が全国から集まっています。そういう意味では京都は学生の町と言えると思うのですが、実際に学生生活を送っているみなさんにとってはどうでしょうか。ただ学生が多くいる町というだけでなく、学生に

とって何か意味のある町という意識はありますか。

真本 ●京都などにある17の神社仏閣が「古都京都の文化財」に指定されていますが、本学のプロジェクト科目にも世界遺産をテーマにしたものがあります。そういう科目を履修できること自体、同志社大学が京都にあり、そこで学んでいる私たちにとって大きな意味を持っているのではないかと思います。

田中 ●観光で京都に来ると、四条通や烏丸通といった大きな通りが中心で、細い路地まではなかなか入っていきません。路地裏にある昔ながらの店では店主とのふれあいがあるって、京都に住んでいるよさを実感します。特に同志社大学の学生だと言うと、親密度が増すような気がします。

川崎 ●それはかつて、同志社大学の学生が「同やん」と呼ばれて親しまれていた名残でしょう。地下鉄もまだ開通していなくて、市電や市バスで大学に通っていた頃は、同志社大学の学生の呼称として、京都の人たちに定着していたそうです。ちょっとおしゃれで爽やかさのあるボンボン。そんなイメージですね。

長谷川 ●そうなんですか、初めて聞きました。

田中 ●そういう呼び方があることは知っていましたが、呼ばれたことはないですね。



真本 大生
〔法学部 4 年次生〕
大阪府出身



長谷川 萌恵
〔経済学部 4 年次生〕
神奈川県出身



田中 智也
〔商学部 3 年次生〕
鳥取県出身

川崎●「同やん」という呼び方も、今ではノスタルジーを感じさせる言葉になっています。私の学生時代も、死語になっていましたから、皆さんが知らないのも無理はありません。ただ、昔から同志社大学生が、京都の人たちに、親しみを持って受け入れていただいていたことは間違いないでしょう。140年近く今出川という場所にあったのですから、町との関係にも長い歴史があります。地域の方々も、同志社大学に対して、いろいろ思うところがあるはず。今、皆さんが実際に京都で生活していて、地域の人たちとのつながりはどうなっているのでしょうか。

長谷川●私は今、ARCO（学生支援センター）地域連携学生スタッフというところで活動しているのですが、ここは学生のボランティアをコーディネートする組織なんです。地域の中で学生の協力がほしいという要望があれば、学内のボランティア志望の学生と地域をつなぐ橋渡しをします。

川崎●地域の人たちも学生と交流していくことを望んでいるはずですが、学生サイドにはそうしたニーズが伝わっていないように思います。地域と学生、相互の理解を深めていくというのはいいことですね。長谷川●私たちが地域と学生とをつなぐパイプ役になっていくことで、学生も地域の人たちから様々なことを学ぶ機会が

生まれてくると
思います。

田中●学友団の執行委員会では、キャンパス周辺の住民の方々と学生の関係を良くするように活動しています。大学を通して入ってくる要望を学生に伝え、時には夜間、自分たちでキャンパスの周りを回ることもあります。活動を通して地域の

人から教えられることは多いですね。

体験を通して歴史を学ぶ

川崎●京都は伝統的に学生を大事にしてきた町です。30分皿洗いをすると飲食代を無料にしてくれる店があるように、

学生たちがあまり裕福ではなかった時代でも、すべての学生が楽しく学生生活を送っている町でした。特に同志社大学の学生に限ってというわけではありませんが、東京でも大阪でもなく、京都で学生生活を送る利点はどんなところにあると思いますか。

川崎 友巳
〔学生支援センター所長
法学部教授〕



田中●鳥取からだとは大学は東京、大阪、京都を選ぶ人が多いのですが、京都は空と山が一緒に見えて、緑がたくさんあります。地方出身者にとっては安心感を与えてくれる過ごしやすい町だと思います。

真本●世界遺産があるということに加えて、京都には博物館や美術館がたくさんあります。それぞれが移動できる距離にあるので、1日で展覧会をいくつも回ることができるというのは、京都ならではのメリットです。それに有名な観光施設だけではなく、あまり知られていない歴史的な場所も多く、静かで落ち着いた

時間を様々なところで持てるのもいいですね。

川崎●大学に入ってから清水寺、金閣寺、銀閣寺、二条城、東寺の5つを回ったことがある人はいいますか。

田中・長谷川●一通りは行きました。

川崎●行って良かったと思いましたか。

長谷川●私も行きましたが、観光で訪れた時よりゆっくり落ち着いて見ることで、できたので、私はよかったです。

真本●大阪から通っているのによくわかるのですが、清水寺や金閣寺などは京都の観光名所としては定番の場所で、常に賑わっています。せっかく京都で暮らしているのですから、そのような名所だけではなく、その間に行けないうような場所に行くのも学生生活を満喫させる選択肢の一つかもしれません。

川崎●同感です。例えば京都御所にしても、特に名もないような古くて大きな木などでも江戸時代からそこにあるのです。その木の横を歴史的に有名な人物が歩いたかもしれない。同じ木を見上げて、遠い故郷を思っていたのかもしれない。歴史を知識としてではなく、同じ体験を通して感じるができる。しかもそれを、平安時代から1200年もの時間の流れを経て感じられる。それこそ京都で学生生活を送る利点だと思いますから、ぜひ今の間にそういう体験をして

ほしいですね。

長谷川・田中●そうします。

学生の特権を活かして

川崎●一方で京都は、昔栄えた古い町ではなく、今も栄え続けている町なのです。京都は世界的に名だたる先端企業、しかもオリジナリティを持った企業を多く

生み出しています。伝統がある一方で、際立った革新性を持っているのが京都の魅力でもあります。だからこそ大学もたくさんあり、世界的な科学者を表彰する賞も生まれているのです。多面性があり、しかも深みがあるというのが京都の良さだと思うのですが、残念ながらそのことに気づかないまま卒業してしまう人が多い。そういう意味で、京都にいる間にしておいた方がいいと思うことはありますか。

長谷川●町を歩き回ることでしょうか。私自身、普段は住んでいるところと大学との往復なので、もっと京都の町を歩いて知りたいことがたくさんあります。

川崎●目的を持って歩くのではなく、歩くこと自体が魅力の発見につながるということです。

真本●身近にあるから逆に行かなかったりすることが多いですね。3・4年次になると就職活動などで忙しくなるので、1・2年次のうちに歴史と触れ合っ

ておくといいと思います。実は、京都には学生証があれば優待で入れる施設がたくさんあるのです。いろんなところで特典が得られるのは、京都の学生の特権ではないでしょうか。私のおすすめは、今出川キャンパスからでも歩いて行ける、堀川寺ノ内にある裏千家の茶道総合資料館です。学生証を提示すれば無料で入館でき、お抹茶もいただけます。安らぎを求めて行かれるといいですよ。

川崎●私自身、後になってから「しまった。あの時にしておけば良かった」と思うことがたくさんあります。京都の良さにも、他の町と比べないとなかなか気づきにくいものです。自分が学生生活を送る場所が京都だということ、自分の地元などと比べてみてどういう違いがあるかなどを意識して生活してみると、京都の良さがわかってきて、そこからまた新たな発見、興味が湧いてくるかもしれません。真本さんが言ったように、美術館や博物館が数多く集まっています、同志社だけではなく、他大学の公開講座なども頻繁に行われています。知的好奇心を刺激し、感性を磨くチャンスがたくさんある一方、芸術文化だけではなく、食文化の面でも京都には伝統が息づいています。同志社大学にやって来る学生には、ぜひこの京都で本物を感じてほしいですね。



伝統の京野菜に京都人の知恵を見た！

長い歴史の中で培われてきた京都の食文化を支える重要な食材「京野菜」。京都特有の気候風土が育んだ伝統野菜は、古くは平安時代から栽培が進められてきた。その群を抜く味や栄養価の秘密、とっておきの調理法に、料理研究会副会長の尾田葵さん（法学部法律学科2年次生）が迫る。



館を訪ね、「京野菜マイスター」でもある、京都青果合同株式会社の猪阪久夫部長にお聞きしました。

まず知りたかったのは、京野菜と他の野菜との違いについて。猪阪さんは、明確な定義はないと言います。ただ、京都で採れた野菜を京野菜と総称し、その中でも明治以前から栽培が続けられている37品目を「京の伝統野菜」と定めているとのこと。

伝統野菜の中には、みず菜、壬生菜、九条ねぎ、賀茂なす、伏見とうがらし、鹿ヶ谷かぼちゃ、えびいも、聖護院かぶなどがあります。例えば、九条ねぎは奈良時代には深草で栽培が始まり、九条で広まったのは平安朝前期。えびいもは約240年前の安永年間、長崎から青蓮院宮が持ち帰った芋を宮家の菜園で栽培したところ、海老形の大きな芋になったのが始まりだそうです。

「他の産地と違うのは同じ種を



農家が代々受け継いで、いいものを選んで残していったということです。京野菜の発展には京都の風土が大きく影響しています。地下水と河川がもたらす良質な水、腐植質を含む豊かな土、盆地特有の寒暖差のある気候とが野菜の生育に最高の環境を与えてきたと言えます」と猪阪さん。

猪阪さんによると、京野菜は基本的にそのまま食べるのが一番おいしいのだそうです。特におすすめなのは賀茂なす。夏の京料理には欠かせない食材です。

「賀茂なすのステーキはおいしいですよ。作り方はいたってシンプルで、厚く切ってフライパンで肉と同じように焼き、醤油をかけていただきます。

肉の代わりにメインディッシュになるんです。普通の野菜はあくまで脇役ですが、京野菜は主役にもなれるんですね」

「出会いもん」と言って、2つの素材を合わせてよりおいしい

ものにする

のも京野菜

を使った料

理の特徴。ね

ぎと鴨、えび

いもと棒鱈、

里芋と蛸、か

ぶらと鯛…、

野菜が生物

の臭いを消

し、いちだんとこくが出るのだと、猪阪

さんは教えてくれました。

「食は命の原点です。京都で暮らしてい

る間に、ぜひ本物の京野菜の料理を体験

してください」

料理研究会としても京野菜を使った

オリジナルメニューをぜひ考えたいと

思っています。



京の食文化ミュージアム 「あじわい館」

▼住所／京都市下京区中堂寺南町

130番地 京都青果センター3階

▼開館時間／8時30分～17時

▼休館日／水曜日（祝日を除く）、

12月31日～1月4日

▼電話／075-321-8680

<http://www.kyo-ajiwakan.com/>

教科書で見た歴史が目の前にある！

1200年を超える歴史が息づく古都・京都には、有名無名の歴史的建造物、彫刻、絵画などが星の如く残されている。それらを間近で見ることができるのは、京都で暮らす日々にも与えられた特権だ。古美術研究会部長の佐野匠さん（文学部国文学科2年次生）が教える京都歴史探訪のススメ。



今出川通を上七軒から少し北に上がったところにあるのが、千本釈迦堂大報恩寺です。今出川キャンパスから自転車ですぐ。いつも静かで落ち着いた佇まいを見せてい

て、私の好きなお寺の1つです。

開創されたのは今から約800年前、鎌倉時代初期の安貞元年（1227）。国宝に指定されている本堂は、幾多の戦火を免れ、今も創建時のまま残る京都市内（京洛）最古の木造建築物として知られています。

まずおすすめしたいのは、重要文化財の「十大弟子像」です。釈迦の弟子から選ばれた10人の老若の僧、舍利弗、目犍連、摩訶迦葉、阿那律、須菩提、富楼那、迦旃延、優婆離、羅睺羅、阿難陀が十大弟子。高さ90〜100センチの像は十体ともほぼ完全な状態で保管されています。

後世に名を残す名匠・快慶晩年の作とされますが、本人の銘が刻まれているのは目犍連尊者のみで、弟子の1人、行快との連名が刻まれた優婆離尊者を除く残りの像は弟子たちの作ではないかとも言われています。よく見ると、目犍連像は明らかに他の像とは違っていて、顔の



敏の1つひとつが人間味にあふれ、まるで今にも動き出しそうな感じがします。

また、真言宗の聖、千手、馬頭、十一面、准胝、如意輪の六観音菩薩の像、六観音像が揃って

等身大で残っているのは、極めて希有な例です。六観音はそれぞれ地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天の六道を救う観音とされ、ここに



ある六観音像は彫刻の刀法が心憎いまでに冴え、衣の襞にも複雑な変化を見ることが出来ます。足利義満が乗っていたとされる牛車の車輪なども展示され、まさに教科書に載っている歴史が目の前にあります。

展示されている霊宝殿の中は外界から遮断され、空気が

動いていません。外へ出た瞬間の明るさや風の心地よさもぜひ感じてほしいですね。

【仏像の見方】

①目線が大事。目の前の人物を見ているのか、それとも遠く（衆生すべて）を見て瞑想しているのか。実際の体つきをゆがめてまで、どう見えるかが考えられていることもある。

②平安期の仏像は概念的なものであり、人間そのものの体つきではない部分もある。一方、鎌倉期になると、運慶・快慶の活躍もあり、写実的で力強くなる。

●毘沙門堂勝林寺

あえて設えた

床の傾きが珍しい。天へと続く「道」を表現し、必ず毘沙門天を見上げる形になる。魅せる配置の例として推したい。



●三十三間堂

1000体の観音像は圧巻。見た人それぞれの会いたい人に似た観音像がどこかにいらつしゃるという噂も。等身大尊像30体（種）各々の特徴を見ていくのも面白い。

／同志社大学 学生対象／

学外施設の利用について

同志社大学では正課・課外教育推進の観点から、学生のみなさんが学外でも幅広い教養を身につける機会を提供するために、下記の学外施設と提携しています。無料あるいは割引料金で観覧・鑑賞できますので積極的に利用してください。詳細については学生支援HP (http://www.doshisha.ac.jp/students/s_support/use/about.html) をご確認ください。

■ 京都国立博物館・奈良国立博物館

- 平常展の無料観覧 ● 施設利用等の割引 ● イベント料金の割引 ● 特別展覧会の観覧料金の割引

■ 茶道資料館

- 特別展、通常展の無料観覧

■ 京都シネマ(COCON烏丸)

- 映画鑑賞価格の割引

■ 京都市キャンパス文化パートナーズ制度

本学は、京都市キャンパス文化パートナーズ制度に加入しています。

京都市キャンパス文化パートナーズ制度は、京都市が学生に文化芸術に親しみやすい環境を提供するとともに、文化芸術活動への参画を通じて地域社会との接点を構築する機会を提供し、学生が文化芸術に対する理解を深め、学生生活をより豊かなものとするを目的として設けている制度です。

登録・入会手続(無料)は京都市キャンパス文化パートナーズ制度のHP (<http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000111091.html>) から行ってください。

【優待施設・例】

各施設	特典の対象	特典の内容
京都市美術館	入館料(京展、コレクション展、所蔵品展に限る)	100円
京都市動物園	入園料	600円 ▶ 100円
元離宮二条城	入城料(ライトアップ、お正月庭園公開を除く)	600円 ▶ 100円
無鄰菴	入場料	400円 ▶ 100円
市民狂言会(年4回開催)	鑑賞料金	当日券 3,000円 ▶ 1,500円
京都万華鏡ミュージアム姉小路館	プレゼント	ポストカード 3枚セット進呈
京都国際マンガミュージアム	入場料(特別展は対象外)	800円 ▶ 640円
京都市青少年科学センター	入場料	500円 ▶ 250円
	プラネタリウム観覧料	500円 ▶ 250円
京都市学校歴史博物館	入館料	200円 ▶ 100円
京都伝統産業ふれあい館	摺型友禅染体験料(体験は土日祝に限る)	全種類 100円引
岩倉具視幽棲旧宅	入園料	300円 ▶ 100円
京都絞り工芸館	入館料	500円 ▶ 400円
藤森神社 宝物殿	志納金	無料
宮井ふろしき・袱紗ギャラリー	入館料	500円 ▶ 300円
西陣くらしの美術館 富田屋	プレゼント	写真のプレゼント(要事前予約)
高台寺掌美術館	プレゼント	ポストカード 1枚進呈
島津製作所 創業記念資料館	入館料	300円 ▶ 240円
霊山歴史館(幕末維新ミュージアム)	入館料(特別展示は別料金)	500円 ▶ 400円
京都府立陶板名画の庭	入園料	100円 ▶ 無料
大西清右衛門美術館 (企画展・特別展のみ開館)	プレゼント	ポストカード 1枚進呈

※ その他優待施設についてはHPをご確認ください。

生命医科学部医情報学科 脳神経行動工学研究室（飛龍・小林研究室）

コウモリの“超”能力に学び、研究を通じて人を育てる。

コウモリの機能研究で合体

「脳神経行動工学研究室」は、今年4月からスタートしたばかり。その成り立ちはいささか異色だ。それぞれ別の研究室に属していた飛龍志津子准教授と小林耕太准教授のグループが合体、1つの研究室となった。

小さな虫をリアルタイムに検知することのできるソナーの能力を持つ。その能力を解明し、センシング技術に応用することにより、次世代に向けた新しいエンジニアリングへのブレークスルーを図る。

一方、小林准教授の研究テーマは「神経行動学特に聴覚、発声、ならびに聴覚―発声統合の神経メカニズム」。動物が行う認知行動の神経メカニズムを研究する一例として、聴覚が進化的にきわめて発達したコウモリを対象とし、音声認知の神経機構の解明を目指す。どちらにも共通するのは、コウ

モリを研究・実験の対象としていることだ。准教授2人のペアで研究室を運営しているケースはきわめて珍しく、しかも2人は同年齢。

「同じ学科に属し、音の研究、コウモリという共通項があり、これまでも共同研究を行ってきました。2人がお互いに補完し合う、とてもいい関係になっています」と飛龍先生が言えば、小林先生も「両方の研究機材が使えますから、学生にとってもメリットは大きいです」と頷く。

人を育てる理系教育

研究室は4年次の学部生と生命医科学研究科博士課程前期、後期の大学院生で構成。研究室に入った4年次生は、研究テーマによってペアを組む博士前期課程の院生を選び、それをさらに博士課程の院生が束ねる。小さな研究室がいくつもあるイメージだ。

「学部生は研究室に入っただけに研究が始められます。いろんな点で相談できる先輩が身近にいると心強いです。学部生には教

えられるということを通して、研究をする以外の成長があり、院生は教えるという行動を通してすごく伸びるのです。社会に出ると、今度は新入社員として教えてもらう立場になりますが、そのときに“教わり上手”になれるかどうかは、教えられることと教えることの両方を経験していることが大きいのです。また、2人という最小単位の関係をいかにうまく保つかといういちばん難しく、でも大切な人間関係をスムーズに乗り切れば、研究以上の力の伸びがあります。2つの車輪を同時に回すと言いますが、研究をしながら人間としても成長できる。研究と同時に人も育てるという、同志社大学らしい教育のあり方だと思っています」と、飛龍先生は話す。

研究を進めながら、学部生は卒業論文、博士前期課程の院生は修士論文、博士後期



飛龍 志津子
【生命医科学部准教授】



小林 耕太
【生命医科学部准教授】





課程の院生は博士論文の作成を目指す。その後、学部生は卒業して就職、社会に出ていくものと、大学院へ進学しそのまま研究室に残るものとに分かれる。

「学部生は卒論に向けた研究を進め、同時に次に進むべき道を探ります。博士前期課程の学生はグループ活動を通して研究力や社会人を磨き、企業研究者となった時に恥ずかしくない力を身につけます。博士後期課程の学生はよりレベルの高い研究者を目指し、海外に行つて発表するだけではなく、外国の研究者と共同研究をして実力をつけるということに、3年の間に取り組んでほしい」と小林先生。

飛龍先生は工学研究科修士課程修了後、コンピュータ会社に就職。会社の国内留学制度を利用して、もう一度大学に戻ってきた。就職して社会に出る学生へのアドバイスも、社会人経験者らしさが覗く。

「企業に勤めるということは、長距離マラソンを走ることと同じです。

その間には時として目標を見失いそうになることがあります。大事なものは目標を持ち続け、自分を磨いて行けるかです。会社員時代、私は上司にこう言われました。『常に5年後の自分を想像して進んで行きなさい。思い続けていると、きつとその通りになれ



るから』と。学生もそういう意識を持って社会に出て行つてほしいですね」

やがて後継者として

2つの研究室が合体したようなものだから、メンバーは全員で60人を超える大所帯。学部生が25人に、ポスドクの研究員と研究補助員、助手がそれぞれ1人ずつ、ドクターの学生が6人、残りがマスターの学生だ。

ヒューマンエコーレーション、つまりコウモリが持っている超音波で障害物を検知する能力の人間への応用について研究している晩田泰斗さんは、学部の4年次生。大学院への進学を希望していて、将来は「エンジニアになって、生物が進化で得たものを工

学の分野に活かしたい」と言う。

同じ4年次生の梁愛奈さんも、博士前期課程に進む。「理系の場合、学部の勉強だけで得られる知識は限られています。一般企業も理系の学生に求めるのは、自分で考え筋道を立てて動けることだと思います。そういう勉強を始めるのは4年次になってからなので、その段階で就職するのはもったいないような気がするんです」

学科で博士前期課程に進んだ同期30人の中で、後期課程に残った2人のうちの1人、古山貴文さんが目指すのは研究者の道。「海外のラボに行つて、自分の実力がどの程度のレベルにあるのかを確かめてみたい。外国人の研究者と共同研究をして知識を拡げたいと思っています」と話す。

飛龍先生と同じ同志社女子中高出身の角谷美和さんにとって、「すごい先輩」の飛龍先生は憧れの存在だ。学部の4年次に先生のいた研究室に入り、この4月から博士後期課程に進んだ。将来は「働きながら家庭を持つて」という女性になりたいので、飛龍先生のような形で人生を歩んで行ければと考えている。

そんな角谷さんもそうだが、古山さんもやがては大学に戻つて教壇に立つことを視野に入れているという。飛龍先生と小林先生のもとで育った2人が、やがてまた次の世代を育てていく。そうして同志社大学の理系教育は受け継がれていくのだ。



産業界が注目する先端複合材料の研究・技術開発拠点

炭素繊維やカーボンナノチューブに代表される強化繊維複合材料は、航空機分野で実用化され普及・拡大しつつあるが、自動車や家電製品などへの展開はこれからだ。そうした量産技術が必要な分野での実用化には、さらなる高度な機能が要求され、材料そのものの評価を含む材料技術や成形加工技術、機械加工技術などに多くの研究開発課題が残されている。2012年4月にスタートした「先端複合材料研究センター」は、それらの課題解決にフォーカスし、先端複合材料の分野をリードすることを目的とした研究拠点である。2007～2012年の6年間設置された「複合材料研究センター」の成果を受け継ぎ、産業界からも多くの期待が寄せられている新たなセンターの役割と活動について、センター長の田中達也理工学部機械系学科教授に聞いた。



先端複合材料研究センター

田中 達也

【理工学部機械系学科 教授】

「材料創成」「評価」「加工」の
3分野で4つのグループが
連携して活動

前身の「複合材料研究センター」は複合材料全般を対象に、極めて広範囲に渡って研究を行っていました。新たに「先端」の名称を冠した当センターでは複合材料研究センターの成果を踏まえ、炭素繊維やカーボンナノチューブ強化複合材料に的を絞っています。研究の実施計画では、その高機能化のための材料と評価技術、生産技術、成形加工技術の研究を行うとともに、材料学会(SAMPE Japan)などの量産化自動車用途コンポジットシンポジウムの開催、産官学連携による先端複合材料の拠点形成と普及拡大の促進を挙げています。形式上、第1から第4まで4つのグループで構成しており、それぞれグループリーダーとして第1グループは加藤将樹教授、第2グループは大窪和也教授、第3グループは田中和人教授、そして第4グループを私が担当。センターの活動としては材料の創成、評価、加工の3つの分野に分かれ、第1グループが材料創成、第2グループが評価、第3・4グループが加工を専門領域として、それぞれがリンクしつつ、外部機関や材料メーカー、機械メーカーなどの企業とコネクタしながら研究を進めています。

材料創成は物質を作るといふよりも、

り高機能化するためにナノ繊維や粒子の配置の仕方、組み合わせを変えようということです。従来の複合材料研究は高強度化などクオリティの向上を目的としていたのですが、当センターでは導電性や減衰特性など高機能化に重点を置いて研究を行っています。メインはプラスチックの複合材料であるため、何かを入れて強くするだけではなく、それ以外のプラスチックをメインとした材料とプロセスの開発です。したがって最終的に加工する段階もプロセスの中に入り、材料を作るという部分もあります。複合材料はある種の材料を混ぜるということなのですが、私が担当する加工の領域では材料そのものと言うより、例えばAとBの材料をどのように配置して混ぜればより高機能化が図れるのかを探り、そのための機械の開発を行うことが主体です。要するに工業的に使われている機械の基礎研究と言っているでしょう。

産学連携を進め、企業同士を結びつける役割を担う

1年目は、センターの核となるものをどういう方向に持っていくか、前のセンターの実績や反省を踏まえて文部科学省に申請、新しいセンターを本格稼働させるための準備期間でした。研究活動は1年目からスタートしていますが、文部科学省の「私立大学研究高度化推進事業」に採択され

た2013年4月から、より明確に動き出しました。開設から3年目の今年は中間評価の段階となり、6月に第三者による外部評価を実施。最終的にどういった成果が示せるかという明確なものはまだありませんが、カーボンファイバーやナノ繊維といった分野はまだ一般的に実用化の段階に至っていないので、これを実際に広く普及させて行くことが、当センターの最大の目標です。先端複合材料はそのほとんどが航空機に使用されているのみであり、それをもう少し身近なもの、例えば自動車や家電製品といった量産品に応用していきたいと考えています。

そのためのステップとして、この4月に材料メーカーとの間で包括協定を結びました。これはカーボン繊維の有効利用を目的として、人的交流を含めた広範囲に渡る協定です。お互いのシーズ、ニーズのやり取りを含め、詳細はこれから詰めていくことになりますが、メーカーサイドからは材料の

応用における特性評価など、企業で行うのが難しいものについて、協力の要請が来ているものもあります。また、人的交流の面では、すでにこちらの研究室に向こうから1人、博士課程の学生として加わっています。今後はセン

ターの学生をメーカーにインターンシップとして派遣し、就職も視野に入れた活動になっていきます。こうした形で産学連携が進んでいくことは、センターの活動の一つの成果の現れでもあります。

さらに、この協定締結の前には、その材料メーカーから素材の提供を受け、機械メーカーと共同でプラスチック成形機を開発し、昨年12月に東京の幕張メッセで開催された国際見本市に出展しました。材料メーカーと機械メーカーがコラボレートする機会はありません、これは「企業同士を結びつける接点的な機能を果たし、新しいものを生み出して行く」という当センターが担う役割が具体化した1つの例です。

複合材料研究の誇るべき歴史と蓄積

成果という点では、年に2回、成果報告会を開いているほか、これまでに6回、学



[A] 2014年11月台湾にて開催された Asian Workshop on Polymer Processing 2014での集合写真。

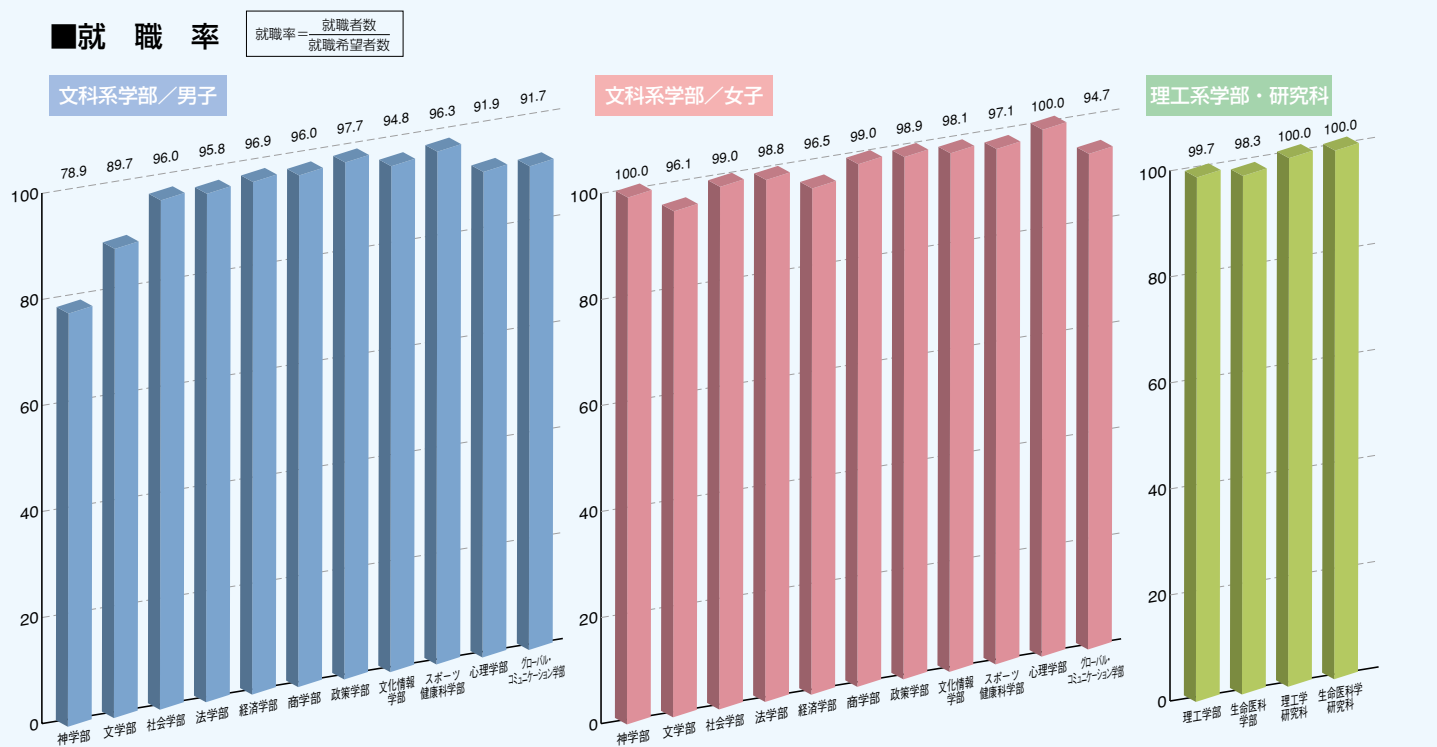
[B] 2014年10月東京幕張メッセで開催された国際プラスチックフェアIPFにて展示を行った様子。東洋機械金属と同志社大学で共同開発を行ったハイブリッド射出成形機。

会との共催でシンポジウムを開催しました。材料学会、SAMPE Japanとの三者共催による量産化自動車用途コンポジットシンポジウムは、前のセンターの時から引き続いて実施しているものです。昨年11月には、国内にある複合材料研究センターの代表者を招き、パネルディスカッションを行いました。実は、複合材料の研究に取り組んでいるのは、同志社大学が歴史的に最も古いのです。研究の蓄積も多く、これは私たちが誇っている点だと思います。

当センターの今後の方向性としては、先端複合材料の分野をリードする研究発信基地として、国際的な研究者の交流を進めていくことが求められます。センターのメンバーの中には大学の研究の一環として個別に海外の研究センターと交流している先生もいますが、これからはセンター全体の活動として積極的に展開していくことが必要だと考えています。

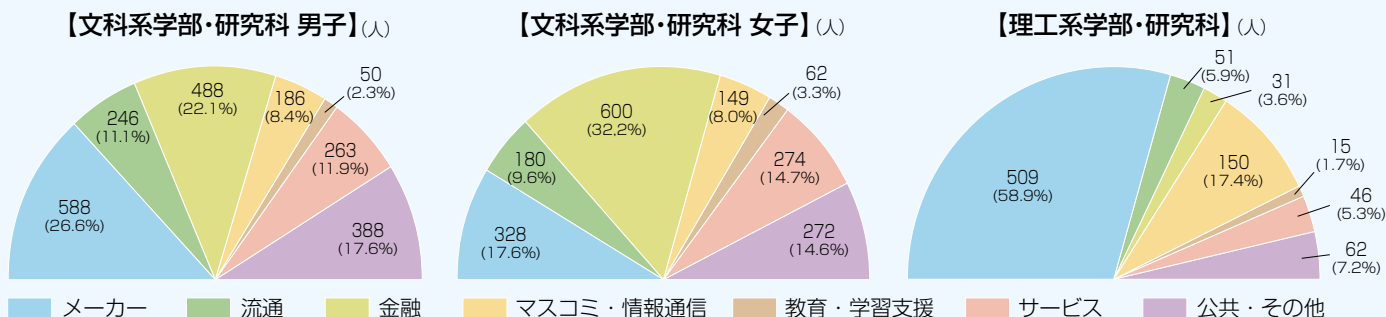
データでみる 2014年度就職戦線

2014年度の就職状況は、大卒求人倍率の上昇を反映して、予想通り売手市場となり、就職率は97.1%と高い数字になりました。その一方で、社会のニーズが多様化する中、企業は今後ますます、外国語運用能力、情報活用能力、人間関係を結ぶコミュニケーション能力、さらには問題発見解決能力など、自ら考え行動し成果を上げることができる潜在能力を持った自立した人材を求めています。このような変化の中で、皆さん自身がより高いキャリアを形成するためには、目的を持ち勉強やクラブ活動に充実した大学生活を送ることや、**インターンシップ(注1)**など学外の体験学習を通じて社会の動きを理解することが大切になります。

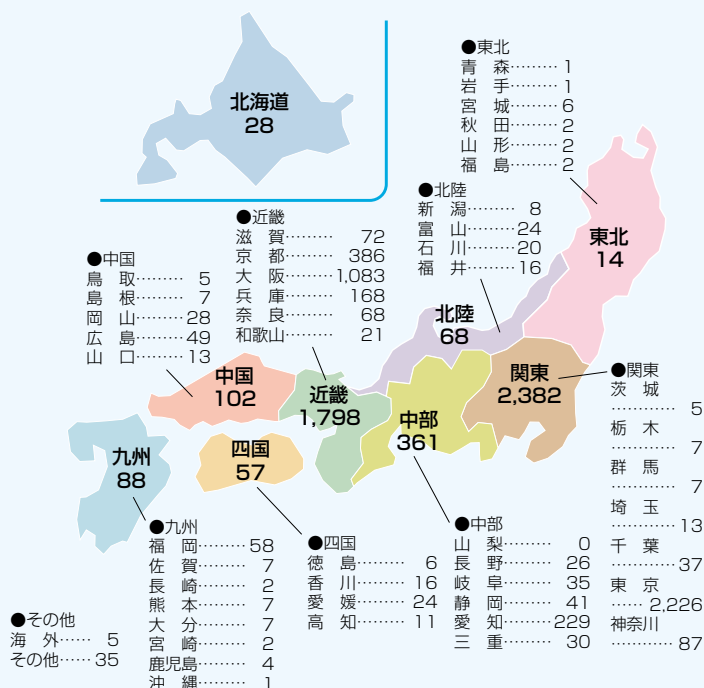


■主な就職先と人数		会社名と人数	
文 科 系		理 工 系	
株式会社三井住友銀行	83	パナソニック株式会社	18
株式会社三菱東京UFJ銀行	53	日産自動車株式会社	11
日本生命保険相互会社	52	三菱電機株式会社	11
株式会社りそなホールディングス	45	TIS株式会社	10
国家公務員(一般職)	40	トヨタ自動車株式会社	10
日本郵便株式会社	40	ダイキン工業株式会社	8
みずほフィナンシャルグループ	36	村田機械株式会社	8
株式会社京都銀行	31	関西電力株式会社	7
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	31	川崎重工業株式会社	7
株式会社南都銀行	31	株式会社東芝	7
東京海上日動火災保険株式会社	27	株式会社豊田自動織機	7
SMBC日興証券株式会社	27	ローム株式会社	7
京都市中央信用金庫	25	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	6
株式会社滋賀銀行	22	京セラ株式会社	6
京都市	21	株式会社小松製作所	6
野村證券株式会社	21	スズキ株式会社	5
株式会社大和証券グループ本社	20	積水化学工業株式会社	5
三井住友海上火災保険株式会社	19	ダイハツ工業株式会社	5
三井住友信託銀行株式会社	16	株式会社日立製作所	5
株式会社池田泉州銀行	16	日立造船株式会社	5
株式会社関西アーバン銀行	15	ルネサスエレクトロニクス株式会社	5
京都府	15	アイシン精機株式会社	4
株式会社LIXIL	15	オリンパス株式会社	4
富士通株式会社	15	シャープ株式会社	4
明治安田生命保険相互会社	15	株式会社ソフトウェア・サービス	4
楽天株式会社	15	ソフトバンクグループ	4
株式会社紀陽銀行	14	タカタ株式会社	4
住友生命保険相互会社	14	株式会社LIXIL	4
日本電気株式会社	14	日本電気株式会社	4
株式会社ニトリ	14	富士通株式会社	4
パナソニック株式会社	14	三菱自動車工業株式会社	4
みずほ証券株式会社	14	株式会社住友信託銀行	3
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	13	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西	3
裁判所職員(一般職)	13	大阪瓦斯株式会社	3
全日本空輸株式会社	13	関電システムソリューションズ株式会社	3
三菱電機株式会社	13	株式会社きんでん	3
株式会社かんぽ生命保険	12	株式会社シブタニ	3
京都信用金庫	12	株式会社ジェイテクト	3
京都府 警察(警察官・警察事務 等)	12	象印マホービン株式会社	3
株式会社広島銀行	12	田辺三菱製薬株式会社	3
株式会社福岡銀行	12	テルモ株式会社	3
三菱UFJ信託銀行株式会社	12	TOTO株式会社	3
日本年金機構	11	大東建託株式会社	3
株式会社ゆうちょ銀行	11	株式会社デンソー	3
株式会社リクルートキャリア	11	日本特殊陶業株式会社	3
国税専門官	10	西日本電信電話株式会社	3
株式会社東芝	10	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	3
株式会社西日本シティ銀行	10	株式会社日立システムズ	3
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	10	株式会社堀場製作所	3
イオンリテール株式会社	9	森永乳業株式会社	3
株式会社エイチ・アイ・エス	9	山崎製パン株式会社	3
株式会社NTTドコモ	9	ヤンマー株式会社	3

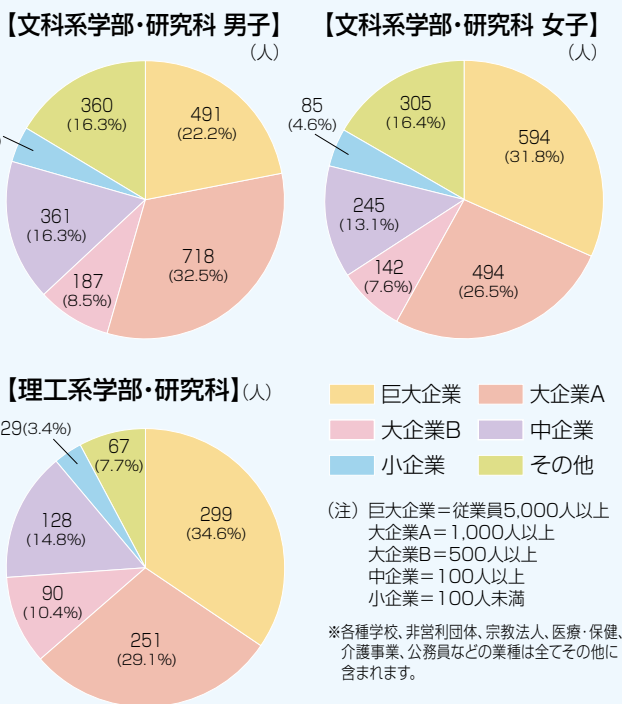
■業種別内定状況



■地区別内定状況 (人)



■従業員規模別内定状況



※データは2014年度確定数

(注1)インターンシップ

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。本学では正課科目「キャリア形成とインターンシップ」を開講しています。学生が大学で学んだ社会の諸課題と、その問題解決に向けての考え方、専門知識・理論との統合をはかり、その経験を通じて、より高い学習意欲を喚起しています。同時に、仕事、職業に対する興味・関心を高め、自らの適性や適職を考える大きな契機となることを願っています。その他にも企業主導型(公募制)のインターンシップもあり、キャリア支援システム「e-career」(<https://career.doshisha.ac.jp/campusweb/>)でその一部を紹介していますので参考にご覧ください。

参加者の感想



このインターンシップの経験は非常に有意義なものでした。今振り返ってみると、参加してよかったという思いに満ちあふれています。実際に会社でインターンシップを行うことで、自分と社会人との違いが明確にわかり、自分がまだ学生としての甘えがあると感じることができました。また、この実習の中で自分いかに知識がなく、相手に伝える力が欠如しているかわかったことも大きな成果です。

自分がどのような職に就くことになったとしても、大切なのはその環境の中で自分が何をすべきか何ができるのか考え、実行に移していくことだと改めて気づくことができました。企業分析なども大事ですが、それよりも今の時期に自分を見つめ直し成長できる機会をインターンシップ研修を通じて得ることができたので、これからの就職活動を含め学生生活に活かしていきたいと強く思うようになりました。

毎日が新鮮な出来事で溢れていて、自分が知り得なかった世界にどんどん踏み入っていく感覚が楽しかったです。全部で12日間あった実習ですが、あっという間でした。消極的な自分を積極的な自分に変えていこうと思い参加したインターンシップでしたが、その目的も達成できたように思います。

実習の経験を活かして、もう一度「自分は将来何をしたいのか」、「どんな企業で働きたいのか」、「どのようなキャリアを歩むのか」ということを考え直したいと思います。これらの問いに関し私は自分なりに考えてきたつもりでした。しかし、今回のインターンシップで様々な経験をすることで、自分の将来に対する甘さを認識しました。

今回の体験は絶対に無駄ではないと言い切れます。様々な体験ができたこともそうですが、何よりいろいろな方と出会い、会話できたことが貴重な経験となりました。普段話さないような方と話すことで、その人の考え方に触れ、自分の価値観を広げることができ、とてもよかったです。

2015年度 大学予算について

財務部 経理課

日本の経済指標は緩やかに上向いているが、政府による成長戦略の実現可能性や更なる消費税率引き上げの不安など、持続的な景気回復の見通しは不透明感が漂っている。私立大学は、18歳人口の更なる減少期を目前に控え、大学淘汰の本格化する時代の到来が予想されるなど、依然として厳しい経営環境下に置かれている。

国の施策は、大学のカバナンス改革、学長が全学的なリーダーシップを取ることでできる体制の整備、グローバル展開力の更なる強化を求めているが、本学はこれから、激しく変化する社会の中で、大学への期待やニーズを的確に捉え、建学の精神に基づき、教育研究における質の向上やグローバル化に取り組んでいかなければならない。

2015年度は創立140周年を迎え、さらに10年後の同志社のあるべき姿を見据えながら、大学運営に関し学長自らがリーダーシップを発揮し、教育研究基盤の質的向上に向けた迅速な企画立案に努める。教学面では、免許資格課程センターに新たに教員組織を設け、学生へのサポート体制を充実する。また、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」への取り組みを引き続き推進すると同時に、グローバルな人材・人物を育成する拠点として、本学の特性を生かした新たな教育プログラムを展開し、世界的な通用性の向上や世界に開かれた大学としての魅力を発信していかなければならない。

教育研究環境の整備では、京田辺校地での学習支援環境整備に向け引き続き検討を行う。課外活動支援では、新町別館の改修整備や、多々羅キャンパスについては路線バス延伸によるアクセス改善をはかり、学生の利便性を高める。また、広報活動や首都圏での情報発信機能の強化、地域社会や卒業生との連携の深化にも努める。以上の方針のもと、計画性を重視して限られた財源を効率的に配分することを大原則に予算を編成している。

収入の部

学生生徒等納付金は、15年度入学生の学費改定に伴う増収や新設学部の新年度に係る収納があるものの、当初予算では新入生を入学定員どおりで見込んでいるため、前年度に対して7億4千万円減の313億1千万円を計上しています。これ以外の収入については、確実に収入が見込めるもののみを計上しているため(主な増減理由は表1に注記)、**事業活動収入合計は385億7千万円**となり、前年度予算に対して14億5千万円の減収となっています。

第2号基本金取崩額は研究装置の取得資金1億2千万円のみ計上しています。

当期固定資産除却額18億円は、固定資産(機器備品)の償却期間完了によるものです。

特定支出準備金取崩額の内訳は、国際連携推進事業など使途特定準備金の取崩額です。

収入の部合計は**407億6千万円**となり、前年度予算に対して18億8千万円の減少となります。

支出の部

人件費は、有期契約教員等の増員等により、前年度に対して5千万円増の203億8千万円を計上しています。

事業費は、表1では教育研究経費(減価償却額を除く)、管理経費(同左)、施設関係支出、設備関係支出および予備費に仕訳されていますが、全体では対前年度比20億7千万円減の総額174億2千万円を計上しています。**経常的経費**については前年度予算を基準として計上し、**管理経費**については一部の重点項目を除いて極力節減を図っています。**建設事業**では、今出川校地において尋真館及び新町別館耐震改修事業等、京田辺校地においてサッカー場、アメリカンフットボール場人工芝改修工事等を計上しています。

徴収不能引当金繰入額7千万円は、学費および学資貸付金の徴収不能見込額に対する引当金に繰り入れる額です。

繰入金4億1千万円は、法人内諸学校への資金調達額などを計上しています。

第2号基本金組入額12億円は、大学教学施設設備整備資金として理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は440億1千万円となり、前年度予算に対して21億6千万円の減少となります。

収支差額の部

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた**当年度収支差額は、32億4千万円**の支出超過となります。

(本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています)

主な新規事業

教育研究条件の充実
相互啓発による創造的学力カリキュラム (社会学部・社会学研究科)
社会福祉教育・研究支援センター事業(社会学部・社会学研究科)
企業法務プロフェッショナル育成事業(法学部・法学研究科)
入学前課題実施(商学部・商学研究科)
高大連携教育プログラム実施(商学部・商学研究科)
ソーシャル・イノベーター養成(政策学部・総合政策科学研究科)
政策提案能力を養う理論と実践との交流教育事業 (政策学部・総合政策科学研究科)
教育・研究プログラムと地域公共人材大学連携事業 (政策学部・総合政策科学研究科)
文理融合型教育による課題解決能力の育成事業 (文化情報学部・文化情報科学研究科)
語学力向上及びインターンシップの促進 (理工学部・理工学研究科)
英語によるプレゼンテーション能力向上及び 海外インターンシップの促進(理工学部・理工学研究科)
研究センター連携型オープンフィールド教育事業 (心理学部・心理学研究科)
司法研究科の教育支援 (アカデミック・アドバイザー制度充実、判例法令DB整備他)
国際認証取得経費(ビジネス研究科)
PBL推進支援センター事業
CASEC導入(2年目)
先端的教育研究拠点の基盤整備
企業研究セミナー業務委託
頭脳循環プログラムへの申請支援
赤ちゃん学研究センターの研究拠点化

教育研究環境の整備
教室マルチメディア環境整備
マイクロソフトサイトライセンス契約
2校地間移動無料シャトルバスの運行(法改正対応)
多々羅キャンパス路線バス延伸経費
障がい学生就職支援
学術情報システム・学術情報リポジトリシステムリブレース(図書館)
寧静館・臨光館什器備品整備
薬品管理システムCRIS改修

企画広報活動・管理運営
既存学部・大学院等の広報充実
2015年度事務用PCリブレース
教務システム構築
教務システム開発に伴う諸システム改修
入試システムリブレースに伴う業務委託
入学広報用DVD製作
入学広報用保護者向け冊子作成
webによる出願受付システムの導入
東京・福岡での入学試験実施、春期入学試験の実施(司法研究科)
大型計算機システム改修業務委託
地域戦略広告
「志」コンテスト in 広島
全国紙広報及び東洋経済オンラインによる情報発信
同志社ギャラリー運営業務委託
リブランディング事業
研究開発推進機構 webサイト及びパンフレット等の英文化
東京における産官学連携活動経費
webサイト「同志社大学若手研究者プロフィール」構築

職員人事評価制度検証のための調査実施
職員意識調査の実施
学費等管理業務委託
創立140周年記念事業

施設設備の整備および維持管理
明徳館 1、2階トイレ改修工事
徳照館 文学部地下2階書庫改修工事
寒梅館 司法研究科図書室の拡充
今出川校地 時報システム改修工事
夢告館 文化情報学部文献室書架整備
ブル更衣室入口防犯カメラ設置工事
非常用発電機設置工事
同志社びわこリトリートセンター 浄化槽改修工事
フレンドピースハウス 外壁塗装工事

建設事業
新町別館 耐震改修工事(今出川)
尋真館 耐震改修工事(今出川)
継志館 ブール天井改修工事(今出川)
サッカー場、アメリカンフットボール場 人工芝改修工事(京田辺)
体育施設倉庫建替工事(京田辺)
熱中症対策施設設置工事(京田辺)
知真館1、2号館 トイレ改修工事(京田辺)
IC化に伴う入退館管理整備事業(京田辺)
有徳館西館 空調機器更新工事(京田辺)
創考館 空調機器更新工事(京田辺)
恵道館 昇降機更新工事(京田辺)
紫苑館 昇降機更新工事(京田辺)

2015年度収支予算書 (表1)

2015年4月1日から2016年3月31日まで

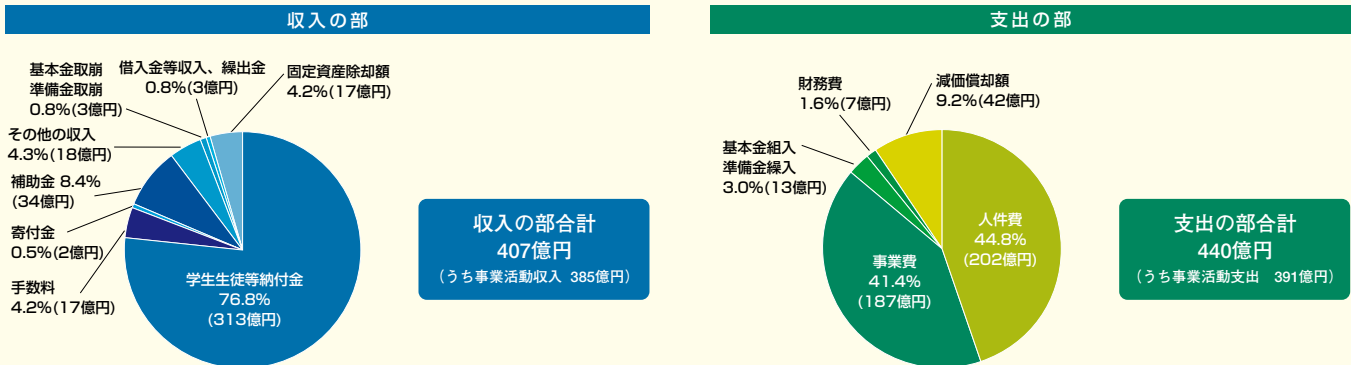
(単位：千円)

収 入 の 部				
科 目	予 算	前年度予算	増 減	主 な 内 訳 ま た は 増 減 理 由
学 生 生 徒 等 納 付 金	31,312,420	32,049,310	△ 736,890	新入生について入学定員どおり計上
手 数 料	1,732,200	1,732,200	0	入学検定料等
寄 付 金	131,150	281,020	△ 149,870	寄付教育研究プロジェクト研究活動あて寄付金等、収納が確実なもののみ計上
補 助 金	3,391,920	3,492,660	△ 100,740	経常費補助金、国際化拠点整備事業費補助金等、収納が確実なもののみ計上
受 取 利 息 ・ 配 当 金	297,900	398,460	△ 100,560	運用見通しに基づき収納見込み額を計上
資 産 売 却 差 額	0	0	0	
付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	355,400	673,480	△ 318,080	企業からの研究受託に係る受託事業収入等、収納が確実なもののみ計上
雑 収 入	784,980	938,880	△ 153,900	退職金財団交付金収入等、収納が確実なもののみ計上
繰 出 金	432,190	342,880	89,310	法人内諸学校からの資金調達額の返済額等
分 担 金	129,040	109,250	19,790	法人内諸学校からの法人業務に係る分担金
事 業 活 動 収 入 合 計	(38,567,200)	(40,018,140)	(△ 1,450,940)	
第 2 号 基 本 金 取 崩 額	120,000	60,000	60,000	研究装置の取得資金に充当
当 期 固 定 資 産 除 却 額	1,807,730	1,774,280	33,450	2005年度取得固定資産の一括除却等
借 入 金 等 収 入	0	0	0	
当 期 末 未 払 金	38,320	68,900	△ 30,580	
基本金 過年度組入額、未組入額計	(1,966,050)	(1,903,180)	(62,870)	
特 定 支 出 準 備 金 取 崩 額	229,410	729,810	△ 500,400	国際連携推進事業に係る準備金の取崩額等
収 入 の 部 合 計	[40,762,660]	[42,651,130]	[△ 1,888,470]	

支 出 の 部				
科 目	予 算	前年度予算	増 減	主 な 内 訳 ま た は 増 減 理 由
人 件 費	20,376,680	20,328,830	47,850	有期契約教員の増員等
教 育 研 究 経 費	16,315,680	17,036,480	△ 720,800	主な新規事業参照
消 耗 品 費 他	12,248,070	13,012,080	△ 764,010	
減 価 償 却 額	4,067,610	4,024,400	43,210	
管 理 経 費	1,768,410	1,725,540	42,870	主な新規事業参照
消 耗 品 費 他	1,598,440	1,552,960	45,480	
減 価 償 却 額	169,970	172,580	△ 2,610	
借 入 金 等 利 息	3,140	4,440	△ 1,300	借入金残高の減少
資 産 処 分 差 額	14,760	23,720	△ 8,960	
徴 収 不 能 額 等	70,100	136,200	△ 66,100	
繰 入 金	405,080	435,160	△ 30,080	法人内諸学校への資金調達等
予 備 費	240,000	120,000	120,000	経理規程（経常勘定における経常勘定事業活動収入の7／1000以上を計上）に基づく
事 業 活 動 支 出 合 計	(39,193,850)	(39,810,370)	(△ 616,520)	
施 設 関 係 支 出	2,079,130	3,232,260	△ 1,153,130	主な新規事業参照
設 備 関 係 支 出	1,262,300	1,582,840	△ 320,540	主な新規事業参照
借 入 金 等 返 済 支 出	38,870	143,870	△ 105,000	
前 期 末 未 払 金	55,020	116,770	△ 61,750	
第 2 号 基 本 金 組 入 額	1,200,000	1,200,000	0	計画に基づき大学教学施設設備整備資金の組入額を計上
第 3 号 基 本 金 組 入 額	0	8,450	△ 8,450	
第 4 号 基 本 金 組 入 額	125,000	25,100	99,900	学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金 要組入額、当年度組入額計	(4,760,320)	(6,309,290)	(△ 1,548,970)	
特 定 支 出 準 備 金 繰 入 額	52,540	47,200	5,340	
支 出 の 部 合 計	[44,006,710]	[46,166,860]	[△ 2,160,150]	

収 支 差 額 の 部			
科 目	予 算	前年度予算	増 減
当 年 度 収 支 差 額	(△ 3,244,050)	(△ 3,515,730)	—
一 般 支 出 準 備 金 繰 入 額	0	0	—
一 般 支 出 準 備 金 取 崩 額	0	2,413,820	—
繰 入 取 崩 後 収 支 差 額	(△ 3,244,050)	(△ 1,101,910)	—
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	[△ 35,756,560]	[△ 34,654,650]	—
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	[△ 39,000,610]	[△ 35,756,560]	—

収支構成図



国立循環器病研究センターとの
包括協定締結記念シンポジウム

「iPS細胞時代の 移植医療と生命倫理 ―ひと・医療・社会―」を開催

3月25日、今出川キャンパスの同志社礼拝堂で、昨年5月の同志社大学と独立行政法人国立循環器病研究センターの交流に関する包括協定締結を記念するシンポジウムを開催しました。一般市民、学生、生命倫理の研究者に加え、大学、医療、企業、行政、教会、マスコミなどの関係者を含めた144人が参加しました。

はじめに、本学を代表して渡辺好章副学長から両機関の連携活動の紹介を含めた挨拶がありました。続いて国立循環器病研究センターを代表して三石博之企画戦略局長からセンターの現況と将来計画の紹介を含めた挨拶をいただきました。

第1部の講演では、本学から、位田隆一グローバルスタディーズ研究科特別客員教授が「iPS細胞治療時代の到来と生命倫理」と題して発表し、再生医療にまつわる倫理上の問題について論点整理をし、瓜生原葉子商学部准教授が「移植医療をと



りまく社会システムと社会価値」と題して発表し、海外との比較を含めた臓器移植の社会的受容について考察しました。国立循環器病研究センターからは、松井健志医学倫理研究室長が「移植医療における研究倫理と臨床倫理」と題した発表があり、臨床倫理、公衆衛生倫理、政策、研究倫理の3つの視点から論点整理をされ、山本晴子先進医療・治験推進部長が「新しい移植医療の可能性と社会」と題して発表し、医療機器のコンパッショネートユース（公的制度に基づき倫理的観点から実施される未承認医薬品・医療機器の例外的使用）にまつわる問題について考察しました。

第2部のパネルディスカッション：会場との意見交換は、小原克博神学部教授がファシリテーターとなって進められました。はじめに、国立循環器病研究センターの森崎隆幸分子生物学部長が講演についてコメントをされた後、パネルディスカッションに移りました。さらに、限られた時間ではありましたが、会場との意見交換も行うことができました。最後に、風間規男研究開発推進機構副機構長が閉会の辞を述べてシンポジウムを締めくくりました。

本学と国立循環器病研究センターは協定に基づき、今後、本格的に医工連携等の分野での共同研究や教育研究面での人材交流を進めていきます。また、今回のシンポジウムを機に、今年2月に発足した生命倫理ガ

バナンス研究センターを核として生命倫理の分野でも連携を深めていく予定です。

（研究開発推進機構）

体育会表彰式

3月7日、2014年度体育会表彰式を神学館礼拝堂で行いました。

この表彰式は、世界規模の大会、全国規模の大会等において優秀な成績を収めた体育会所属の部や個人の功績を称えて表彰するもので、大学と体育会本部が共催しています。



村田晃嗣学長からの式辞、大谷實総長、尾嶋史章学生支援機構長、豊原洋治同志社スポーツユニオン会長による受賞者を讃える祝辞、沖田行司体育会長の挨拶のあと、最優秀部賞をはじめとする各賞の授与が行われました。

表彰に続いて、体育会委員長による謝辞、前体育会委員長の答辞、鈴木良始学生支援センター所長より挨拶が行われ、最後に出席者一同によるカレッジソング斉唱があり、式が締めくくられました。

●最優秀部賞（総長杯）：射撃部

●最優秀選手賞（学長杯）

アーチェリー部 佐藤真奈美さん（スポーツ健康科学部）

・ウェンシング部 西村拓也さん（商学部）
・古田唯一郎さん（商学部） 鳴海葵さん（文学部）
・ハンドボール部 田邊理紗さん（商学部）
・居合道部 茶山斉範さん（理工学部）
・空手道部 東海志保さん（スポーツ健康科学部） 國米櫻さん（文学部）

・日本拳法部 松岡里帆さん（商学部）

・ラグビー部 松井千士さん（スポーツ健康科学部） 末永健雄さん（社会学部） 石田幹太さん（商学部） 大越元気さん（商学部）

・水泳部 高野綾さん（スポーツ健康科学部） 大東未来さん（スポーツ健康科学部） 川本美聡さん（スポーツ健康科学部） 細川莉瑚さん（スポーツ健康科学部）

・卓球部 高橋真梨子さん（商学部） 成本綾海さん（商学部）
・トライアスロン部 平岡隆明さん（スポーツ健康科学部）

その他、優秀部賞、優秀選手賞、奨励賞、新人賞、同志社スポーツユニオン功労賞がそれぞれ授与されました。

（スポーツ支援課）

同志社社友記贈呈式・ 総長賞表彰式

「同志社社友記贈呈式・総長賞表彰式」が3月28日、神学館礼拝堂において挙行されました。式は、高橋聖子女子大学嘱託講師の奏楽により始まり、讃美歌「234A」の



斉唱、水谷誠理事長による聖書朗読ならびに祈禱、同志社グリークラブによる「寒梅詩」の合唱と続きました。

大谷實総長の式辞では、「実業界でも活躍する立石信雄氏及び山崎舜平氏からは多額の寄付を通じて物心両面にわたり同志社の教育・研究事業にご尽力いただいた。感謝すると同時に、新たに社友としてお迎えできることは大変光栄なことである。今後の同志社の発展・進化にますますお力添えをいただきたい。また、2014年度総長賞受賞者におかれては、今後もそれぞれの立場でリーダーシップを発揮し、より一層の精進を重ね、知育・体育・徳育共に優れた「良心の充満した」同志社人に成長し、「一国の良心としての活躍を期待したい」との言葉がありました。

続いて、水谷理事長から社友のお二人に社友記が贈呈されました。立石氏からは、「世界を経験する中で母校に対する思いが強くなった。今後、その恩を返していきたい」、山崎氏からは、「同志社で母のような

また父のような恩師にお会いできていなかったら今日ここに立つことはなかっただろう」と謝意を述べられました。

その後、総長賞の表彰が行われ、カレッジソング、頌栄を斉唱したのち、水谷理事長の祝辞により式は締めくくられました。

(法人事務室)

同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより、広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、今出川キャンパスの教育研究環境の再整備を目的とした「今出川キャンパス新校舎建設資金募金」、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設等整備資金募金」、経済的困窮に苦しむ学生を支える特定寄付奨学金制度の資金に充てる「奨学金資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多方面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。2014年度の募金事業の実績について、次の通りご報告します。

2014年度 募金事業実績報告書(2014年4月～2015年3月入金分)

募金事業	寄付件数及び金額	使 途
今出川キャンパス 新校舎建設資金募金	在学生父母 227件 11,965,507円	2014年度に実施した今出川キャンパスの整備等のための資金として活用。
	卒業生、一般、法人 33件 24,545,000円	
	教職員 3件 355,000円	
	計 263件 36,865,507円	
教育研究施設等 整備資金募金	在学生父母 218件 11,990,503円	2014年度に実施した訪知館(複合的研究施設)の建設など、施設整備資金として活用。 ■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2014」(同志社大学2014年度の事業実績)に記載しています。
	卒業生、一般、法人 15件 540,000円	
	計 233件 12,530,503円	
奨学金資金募金	在学生父母 3件 160,000円	2014年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用。 給付件数35件、給付総額10,500千円
	卒業生、一般、法人 69件 3,313,000円	
	教職員 43件 2,892,500円	
	計 115件 6,365,500円	
同志社ルーム記念館 プロジェクト・サポート募金	卒業生、一般、法人 5件 3,020,000円	2014年度に実施した同志社ルーム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産・官・学・地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用。
	教職員 4件 205,000円	
	計 9件 3,225,000円	

なお、奨学金資金募金では3月末までに、卒業生及び教職員の方々から以下の通りご協力をいただきました。

2014年度協力者ご芳名

(2015年2月13日申込分 順不同 敬称略)

【卒業生・ご父母・一般、教職員】

ご芳名のみ

理工学部事務室職員有志
三上 保孝
板谷 雅之
匿名 1名

新任教員紹介

授業科目を担当する専任教員を紹介します。
①所属(学科/専攻) ②職名



高野 裕治
(たかの ゆうじ)
①研究開発推進機構
②特定任用研究員准教授



加藤 正晴
(かとう まさはる)
①研究開発推進機構
②特定任用研究員准教授



Iyas Salim
ABU-HAJJAR
(イヤス サリム アブハジャール)
①グローバル・スタディーズ研究科
②任期付助手

※教育研究施設等整備資金募金、プロジェクトサポート募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成しご寄付いただいた方々にお送りしています。

本学では個人の皆さまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を受け付けております。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ac.jp>
インターネットでの募金では以下の払込方法をご選択いただけます。

- 1 クレジットカード
- 2 インターネットバンキング
- 3 口座振替

これらの募金事業については、本年度以降も社会各界に対して継続的に呼びかけを行いますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(資金課)

同志社京田辺会堂へのご案内

「基督教主義を以て徳育の基本と為せり」。

同志社京田辺会堂は、同志社大学のこの建学の理念を具現化するものとして誕生した宗教施設です。



同志社京田辺会堂には、訪れる人々を柔らかく包み込むような、とても明るく温かい雰囲気があります。礼拝堂が学生にとって敷居の高い特殊な場所ではなく、普段の生活の一部であると感じていただけるのではないのでしょうか。

礼拝堂から流れるオルガンの音色はキャンパスにキリスト教の雰囲気を出し、建物そのものとあいまって、新島襄のキリスト教や教育への夢・思いといった建学の精神に全身で触れる機会を提供します。礼拝堂はその存在自体が、キリスト教を視覚的にわかりやすく伝えるものですが、学部などによる講演会や学生の発表の場としても活用されることで、教育的な役割を担うようになります。

「心静かに祈りのときを」

皆さんは祈ることがありますか？おそらく、困ったときやこれから大事なことに臨もうとするときには、祈りの言葉を唱えた経験があるでしょう。

現代の学生はとても慌ただしい時代に生きています。授業、クラブ活動やアルバイト、資格のための勉強などに追われる毎日をご過ごしているのではないのでしょうか。そのような日常において、心を整え、日常を振り返るためのときをぜひ持ってください。チャペル・アワーやメデイーション・アワー以外でも、礼拝堂は平日9時〜17時の間開館していますので、日々の生活を見つめるなど心静かな祈りの時間を持っていたいただければと思っています。

*チャペル・アワー…開講期間中の火曜日と金曜日はランチタイム(12時35分〜13時)、水曜日は15時〜15時45分に開催(出川校地の場合は火・水曜日の時間が異なります)
*メデイーション・アワー…開講期間中の月・水・木曜日は12時30分〜13時(入退室は随時可能です)

言館

(KOTOHIRA-KAN)



光館

(HIKARI-KAN)



キリスト教文化センターオリジナルホームページ
<http://www.christian-center.jp/>

歴史と知恵が育んだ
京料理

Zaoputra (以下ザオ) ● 高橋さんが料理の道に入られたのは、やはり歴史のある料亭に生まれたからです。

高橋英一 (以下高橋) ● 子どもの時から調理場が遊び場で、小学校時代から進んで手伝いをしていましたし、そもそも包丁を持つことが好きだったんですね。調理場で手伝いをしていくうちに、それが自然と自分の進む道になったのだと思います。

京都・南禅寺畔 瓢亭 第14代当主

高橋英一

います。料理屋の息子は学校を出ると他の料理屋へ修業に行くものと聞かされていきましたので、大学卒業後は何の抵抗もなくすぐに東京へ見習いに行きました。

ザオ ● 私は去年から京都府の名誉友好大使に任命され、その活動の1つに京野菜を使って母国の料理を作るというものがあります。私自身も料理には興味があるので、京都の伝統的な料理「京料理」はどのような料理のことでしょうか。

高橋 ● 京料理を定義づけるのは難しいですが、長い歴史を持った京都には伝統的な四つの料理があります。一つ目は「有職料理」。白木の台の上に花を飾り、おめでたい盛りつけをするなど様式美にこだわった宮中の料理です。京都には寺院がたくさんありますが、その中から生まれ



た「精進料理」が二つ目です。生臭物を排除し、季節の山菜などを保存食

さんに聞く

にして使います。例えば生椎茸を天日で干し、それを水で戻して、浸け汁とともに炊くと、生で食べるよりも遙かにおいしいんです。薇せんまいも春先に旬のものを干して乾燥させ、違う季節に水で戻して炊くと、生にはない香りと歯ごたえが出ます。そういうものを多く使って調理したものが精進料理なのです。

ザオ ● 昔の人の素晴らしい知恵ですね。

高橋 ● 三つ目が「懷石料理」です。千利休の時代に確立された、茶の湯の際のもて

今回の同志社人

高橋英一さん「1961年 商学部卒業」

1939年生まれ。大学卒業後、東京・大阪で修業。1964年に瓢亭に勤務。1967年、瓢亭第14代を継承。1992年京都府優秀技能者表彰(京都府「現代の名工」受賞。2006年京都府文化賞功労賞受賞。2007年厚生労働大臣卓越技能者表彰(国の現代の名工)受賞。2010年黄綬褒章受賞。2013年京都府指定無形文化財保持者認定。現在、京名物百味会会長(社)国際観光日本レストラン協会副会長、京都市観光協会副会長ほか。「瓢亭四季の料理と器」もてなしの美学―旬の器「懷石入門」など著書多数。

インタビュー

Zaoputra Antonius Andre
(ザオ・ブトラ・アントニウス)さん
「理工学部機能分子・生命化学科 4年次生」





なしのお料理です。出されるお料理には流れがあり、器でも季節感を楽しむ。素晴らしい食文化だと思います。昔の人の知恵という意味では、京都は海から遠いですが新鮮な海の幸を入手するのが難しく、松前船や北前船で入ってくる北海道の塩干物をおいしく食べられるように、工夫を凝らして料理するようになりました。京都の名物の芋棒や鰯^{にしん}そばは、保存のきく乾燥した棒鱈や鰯^{にしん}をおいしく戻すという発想から生まれたものです。こうした料理が昔から各家庭で受

け継がれ、四つ目の「おばんざい」と呼ばれているんですね。

日本の食文化を世界へ

ザオ ● 高橋さんは外国にも日本料理の魅力を広める活動をしてきたと伺っています。

高橋 ● 実は1999年に、世界一と言われる食文化を持ったフランスで、寿司、天ぷら、すきやき、焼き鳥のみが日本料理だと思われていると聞いて、ガッカリしたことがあるんです。日本にはその他にも懐石

料理という素晴らしい食文化があるということを知ってもらわないといけない。そう思って、仲間と一緒にフランスでイベントを開きました。食材、食器は全て日本から持って行き、純粋な日本料理を味わってもらおうと。いわば殴り込みです(笑)

ザオ ● すごいですね。

高橋 ● その時、杉板焼きと言って、醤油と酒とみりんで漬けた鱈を白木の杉板に挟んでオーブンで焼いたものを出しました。醤油がしみ込んだ板

が焦げてすごく香りがいいのです。ピエール・カルダンさんやアラン・シャベルさん、三ツ星のシェフなども来られていて、みんな素晴らしいと絶賛してくれました。料理評論家の方などは白木の板の香りを嗅いで「この中には神が存在している」と言っていました。

日本料理はお出汁が大事ですね。向こうの人は、フランス料理の出汁は動物性、植物性のものを入れて長時間煮るからおいしい、日本のは昆布だしを引いて鰹節を入れて上がりというそんな簡単なものでおいしいはずがないというんです。でも、最後にはブラボー、ブラボーと拍手喝采でした。

ザオ ● 最近は外国人にも、わざわざ京都に来て京料理を食べたいという人が増えています。高橋さんはそういう外国人にどのような印象を持っていますか。

高橋 ● うちにおみえになる外国人の方には、ご予約のときに生魚を召し上がるかどうかをお聞きするんですが、この頃は刺身が好きな方が増えてきました。生粋の日本料理を味わいたいとおっしゃる方が多いですね。そして、大体みなさんミ





【INTERVIEWER】

Zaoputra Antonius Andreさん

理工学部機能分子・生命化学科 4年次生

インドネシア・ジャカルタ出身。高校卒業後来日、1年半日本語学校で学んだ後、2012年同志社大学入学。母国語のほか英語、日本語、中国語、ドイツ語が堪能。教授を目指して大学院に進学予定。

京料理の奥深さを知り、
ますます京都が好きになった

料理を作るのは大好きです。日本語学校時代に弁当屋でアルバイトをしていましたから、和食も作れます。辛いものがダメなので実はインドネシア料理は苦手。もともと京都が好きだったのですが、高橋さんから京料理の歴史などを伺って、ただ単に美味しいだけではなく、その裏には深いものがあるのだということがよく分かりました。大学時代の時間を有効に使って悔いのない生活を送りなさいというアドバイスの通り、私も大学院に進むと忙しくなりますから、残りの1年間を後悔しないよう有意義に過ごしたい。高橋さんの料理にける情熱や思いを見習って、今後の日本での生活、仕事に活かしていきたいです。高橋さんがそうだったように、自分も夢を持って頑張って勉強していこうと思っています。

シランガイドを持って、回っていらっしやいます。あれは一つの目安として非常にわかりやすいですね。

ザオ ●高橋さんがいつも心がけていることは何ですか。

高橋 ●もちろん、料理に関してはいい食材を求めるかに気を遣います。料理法は年配の方が多いとか、女性ばかりだとか、お客様のお顔ぶれによって多少内容を変えていくこともあります。

ザオ ●高橋さんが得意なお料理はあるのですか。

高橋 ●どれか一つをとというのは難しいですが、瓢亭には昔からの伝統のお料理があります。そういうものを大切にしながらも、改革をしていかないと衰退してしまいますので、時代とともに新しいもの

に取り組んでいます。しかし、改革はしますが、瓢亭らしくないと言われないように気を付けなければいけません。

**交友関係を大事に
悔いのない学生生活を**

ザオ ●大学時代の経験で今に役立っていることはありますか。

高橋 ●最も自分のプラスになったのは、授業の合間など時間が空いた時、御所の庭でみんな集まって話ができるような仲間ができたことです。私の一番の宝物ですね。

ザオ ●プライベートはどのように過ごされているのでしょうか。

高橋 ●若い頃は魚釣りが好きで海や川、湖へよく行っていました。他にも陶芸や

園芸など趣味が多いので、時間が足りません(笑)。花づくりは子どもの頃からして、小さい頃は洋花が好きだったのですが、高校生くらいから和花、山野草が好きになりました。咲かせた花は母がお座敷にいつも生けてくれていたのですが、亡くなった後は私が生けています。その趣味が高じて、もう10年近くになりますが、裏千家の淡交会で茶花教室を受け持っています。今も作っている花は150種類は下らないと思います。自分で育てて自分で生けるのが好きなんです。

ザオ ●最後に、若い後輩の大学生にアドバイスをお願いします。

高橋 ●悔いの残らないような学生生活を送ってほしいですね。私も今、こんなことをしておけばよかった、あんなこともで

きたのにと思うことがあります。学生の頃は時間もありますし、お金を使わずに楽しむ方法もたくさんあります。特に交友関係をたくさん作ることでですね。社会に出てからそういう関係が役に立つことがあります。職場での人間関係をスムーズにしていくには、身近な人との付き合いがうまくできていることが大事だと思います。とにかく大学での4年間という時間を、できるだけ上手に使ってください。時間のありがたさはなかなかその頃には分からないものですが。

ザオ ●外国人の私にとって、高橋さんのお話はとても貴重なものでした。これからも日本料理、京料理の普及のために、お元気で活躍ください。本日はどうもありがとうございました。

学生と企業が交流する空間を提供。 仕事の実態を知れば、「就活」が面白くなる。

大学卒業後、ソフトウェアメーカーで2年間勤務してから、「知るカフェ」を経営する会社を立ち上げました。「知るカフェ」とはスポンサーの支援により運営するカフェで、大学1年次から企業情報を得られる場を提供しています。カフェ内では学生にはドリンクを無料で提供し、Wi-Fiやコンセント利用も自由です。現在、同志社大学をはじめ、全国の大学の前に10店舗、スポンサー企業は約120社になりました。

「知るカフェ」を思いついたのは、就職活動の時。私は、アルバイトなどを通して1年次生から社会人と触れ合う機会が多くありました。そのため、就職活動が始まった時には、自分の中で「これをしたい！」という明確な将来像があったのですが、同級生の多くは方向性が定まらないまま動いているようでした。重要なのは1・2年次生の過ごし方なのではないかと思い、大学のキャリアアセンターで「1・2年次生対象に社会人と触れ合う機会を作れば、もっと就職活動が面白くなるのでは」と提案したところ、大学内でもそのような機会を設けているものの、参加数が少ないと聞いたので、それなら大学近くに学生が気軽に立ち寄れるカフェをオープンし、そこに企業の担当者に来て

もらえば、双方が交流しやすい空間ができるだろうと思ったのです。ドリンクを無料にすれば学生が来やすい。カフェにスポンサーがいれば運営できる。スポンサーにはイベントやセミナーでカフェの空間が使える特典を付与すれば協力してもらえるのでは、と考えました。さっそく資料を作り、1人で「知るカフェ」の営業に回りました。スポンサーを獲得するには至らず、就職することになりました。

夢をあきらめきれず、2年後に起業して再び「知るカフェ」の営業を始めた時も、ビジネスモデルがあるわけではなく、いわば形のない商品を売るようなものですから、簡単ではありませんでした。しかしそれまで勤めていた会社での営業経験を生かし、「1・2年次生の学生のために空間を作りたい」という熱意を伝えることで、25社の企業の賛同を得て、2013年12月、同志社大学前に1店舗目を出店することができました。

現在は企業の「学生と交流できる場を提供したい」というニーズと、普段から使っているカフェで緊張せずに聞きたいことが聞ける。という学生のニーズが一致して、企業にも学生にも喜んでいただけるサービスを提供していることに、やりがいを感じています。

す。最近では、多数の大学から「うちの大学の前にも作ってほしい」という声をいただけるようになりました。

企業からは「海外の大学とも交流したい」という声が非常に多いので、タイをはじめシンガポール、アメリカとグローバル展開も考えています。また現在、国内に10店舗ありますが、裏を返せば10大学の学生にしか「知るカフェ」の空間を提供できていないということでもあります。もっと多くの学生に機会を提供することが目標なので、それを形にするのが、株式会社エンリッジョンの次なるステップだと思っています。

柿本 優祐さん【2011年 商学部卒業】

株式会社エンリッジョン 代表取締役

小学生の頃から起業したいという気持ちがあり、商学部に進学。アルバイトや趣味のスノーボードで社会人と触れ合う機会が多く、仕事や会社について大人の話聞くことが楽しかったという柿本さん。企業で働いた2年間は本当に楽しく、居心地もよかったが、「いつまでも成長を続けたい」と感じて退職。初心を貫いて起業することを決意した。「知るカフェ」によって後輩の学生に伝えたいことは、「目的をもって就職活動してほしい。そうしないと、入社してから『自分がやりたいことと違って』『もっとこういうことがしたかった』ということになりかねません。就職はまだ先のことだと感じている人も、何をすればいいかわからない人も、そして無料ドリンク目当てに訪れるだけでも大歓迎だそう。

できないと悩むより行動を。 そうすると世界が広がっていく。

私は静岡出身なのですが、兄が先に関西の大学に進学していて、いつか京都に住みたいと考えていました。今出川キャンパスを見た時に同志社大学に行こうと決め、好きな京都の歴史を勉強するために選んだのが文化史学科でした。1・2年次はお寺を回るサークルに入り、3年次からはゼミで鎌倉時代の仏像を研究テーマに選んで勉強しました。3・4年次の2年間は図書館の書庫通いの毎日。古い文献や分厚い学術書をひたすら読みふけていました。お寺回りと図書館通いの4年間でしたから、地味な学生生活でしたね。

就職は京都でと、入学した時から決めていました。まず学芸員としての就職先を探したのですが、学芸員として就職するには大学院に進学しないと難しく、私は早く社会に出たいと思っていましたので、京菓子資料館のある俵屋吉富なら何らかの形で学芸員の資格を生かせると考えたのです。入社してからは1年も同じところにはないというほど、様々な部署を経験しました。最初は百貨店の売り場に配属になり、そこから直営店の烏丸店へ異動。大学時代にアルバイトをしていなかったのが、接客の経験は

初めてでした。烏丸店にいた時に京菓子資料館の学芸員に空席ができたので、販売員と学芸員を兼務することになりました。入社1年半で念願の学芸員になることができたのですが、京菓子についての知識はほとんどなく、いろいろなお店を回ったり本を読んだりして一から勉強しました。資料館では常設展のほかに年に1・2度企画展を開催しています。その企画を立てるのも私の仕事で、初めての時はできるかどうか不安でしたが、挑戦したかったことですし、やるしかないと思い、所蔵品をすべて調べ直して取り組みました。その後、学芸員を兼務しながら本社の広報を担当し、この4月からはまた烏丸店に戻っています。広報の仕事は販売員以上に未知の領域でしたが、本を読んだり人に話を聞いたりして勉強し、実際に経験していくうちに徐々にコツをつかんで面白くなっていきました。それまでできなかったことが、努力してできるようになっていくのが、私はすごく楽しく、うれしいです。悩んでいるよりまずやってみる。そうすると世界が広がることを、私は仕事を通じて知ることができました。

私は1つのことに集中してしまうタイプ

なので、学生の時にもっと様々なことを経験して視野を広げておいたほうが良かったのではないかと思います。後輩のみなさんも、学生時代に興味を持ったことはどんどん取り組んでみてください。様々なことを広範囲に勉強しておくことで、どんな仕事をするにしてもきっと役に立つでしょうから。

長野 静香さん【2010年 文学部文化史学科卒業】

株式会社俵屋吉富 京菓子資料館 学芸員

静岡県沼津市出身。「京菓子資料館」は今出川キャンパスから徒歩約3分の烏丸通に面するところにある。「私が配属されてから年に何回もお菓子作りの教室を開いています。3階で職人さんが作り方を教え、私が2階の展示室を案内し、和菓子の歴史を知ってもらった後、最後に1階のお茶席でお点前のお茶とお菓子を召し上がっていただきます。京菓子自体に馴染みがなく、敷居が高いものと思われているので、身近に感じていただくきっかけになれば」。2年前には、経済学部とのコラボレーションでマドレーヌを作って売り出したこともある。「ずっと京都に住んでいたい」と言いつつ、今でも京都弁がしゃべれないのが悩みとか。「静岡県民はどこへ行っても染まりやすいと聞いていたのですが、私は『おおきに』と言うのが恥ずかしくて」と、ほんなりの風情で照れた。

A N N O U N C

Doshisha Spirit Week 2015 春

同志社大学には、建学以来脈々と受け継がれてきたキリスト教主義教育、新島襄の建学の教育理念、そしてその実践といった建学の精神と伝統があります。Doshisha Spirit Week は、キリスト教主義教育や創立者新島襄について触れ、同志社人としてのアイデンティティを高めることを目的としています。

【開催期間】6月1日(月)～6月6日(土)

<京田辺校地>

●6月1日(月) 12:30～13:00 ローム記念館劇場空間 演舞 同志社大学応援団

●6月2日(火) 14:55～16:25 知真館1号館116番教室

講演「同志社のルーツ、アーモスト大学」商学部教授 森田 雅憲

●6月3日(水) 15:00～15:45 同志社京田辺会堂 言館礼拝堂

水曜チャペル・アワー「グレース・チャーチの三人ー新島とデフォレスト夫妻」

神戸女学院理事長・院長 森 孝一 氏

●6月4日(木) 14:55～16:25 知真館2号館202番教室

講演「同志社と看護学教育」同志社女子大学看護学部長 岡山 寧子

<今出川校地>

●6月2日(火) 9:00～10:30 至誠館22番教室

講演「Doshisha Spirit Tour～熊本キャンパスの記録」

キリスト教文化センター教授 越川 弘英

●6月2日(火) 17:30～18:10 神学館礼拝堂(神学館3階)

火曜チャペル・アワー「偶像不羈なる書生」

同志社中学校・高等学校聖書科教諭 桜井 希

●6月3日(水) 10:45～11:30 クラーク・チャペル(クラーク記念館2階)

水曜チャペル・アワー「聖書の中のガリラヤとエルサレム」

日本キリスト教団甲東教会牧師 西澤 他喜衛 氏

●6月3日(水) 14:55～16:25 良心館地下2番教室

講演「同志社は不滅か」元神学部教授 本井 康博 氏

●6月5日(金) 13:10～14:40 同志社礼拝堂前集合

キャンパスめぐり隊(今出川校地)「新島旧邸をめぐる」

案内人 同志社社史資料センター社史資料調査員 布施 智子

*詳細はHP <http://www.christian-center.jp/> をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京田辺校地キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

今出川校地キリスト教文化センター TEL:075-251-3320



FLAT bふらっとプログラム

【会場】京田辺校地ハローホール 【料金】無料

●6月26日(金) エレクトリックウィンドコンサート 「遠藤 真理子×OneVoices」

●6月30日(火)・7月1日(水) セタ週間ランチタイムラウンジコンサート

「F.A.C+軽音楽部」

*内容・時間は決まり次第HP等でお知らせしますのでご確認ください。

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413



WOT(ワット)＝“What's On Thursdays!”

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員は全て無料

●6月4日(木) 『アンモナイトのささやきを聞いた』～湊谷夢吉に捧ぐ

●6月11日(木) 映画上映『グレース・オブ・モナコ公妃の切り札』

●6月18日(木) 『Hors Piste Kyoto』 *詳細未定

●6月29日(月) 『フランス映画祭2015 in 関西』 *詳細未定

*6月25日(木)のWOTはお休みです

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

*春学期は7月初旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階) 【料金】本学学生・教職員は全て無料

<6月のラインナップ>

●6月2日(火) 映画上映&トーク 入場無料

●6月9日(火) 《追悼 オリヴェイラ ①》 入場無料

●6月16日(火) 《フランス映画特集①》 入場無料

●6月23日(火) 《フランス映画特集②》 入場無料

●6月30日(火) 《ジャン＝ペドロ・ロドリゲス監督特集》 一般有料

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

*春学期は7月初旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

♪観に行こう聴きに行こう♪—学生団体6月の活動予定—

【学内】

●6月12日(金) Soul 2 Soul「春ハーディー」

今出川 寒梅館 ハーディーホール 17:00～18:30 無料

●6月14日(日)・7月11日(土) 法学研究会 「学生による無料法律相談会」

今出川 寒梅館 会議室 13:00～16:30 無料

●6月21日(日) 会計学研究会 「第32回三大学討論会」

今出川 寒梅館 ハーディーホール 10:00～18:00(9:00開場) 無料

●6月27日(土) ピアノ研究会 「定期演奏会」

今出川 寒梅館 ハーディーホール 15:00～(14:30開場) 無料

●6月28日(日) 同志社大学英語研究会 「第42回新島杯争奪全日本学生英語弁論会」

今出川 寒梅館 ハーディーホール 12:00開場予定 無料

【学外】

●6月6日(土) 能楽部観世会 「同志社観世会」

能楽堂 嘉祥閣(京都市中京区両替町通竹屋町上る) 11:30～ 無料

●6月13日(土) 交響楽団 「第54回同立交歓演奏会」

京都コンサートホール大ホール 18:00～(17:00開場)

一般券 1,000円 学生券・シニア券 500円

●6月18日(木)～21日(日) 写真同好会 「立誠展」

元・立誠小学校(2F図書室/資料室/西側教室3部屋) 12:00～18:00 無料

●6月20日(土)・21日(日) 書道部 「青嵐展」(書道作品展覧会)

建仁寺西来院 10:00～17:00(最終日は16:00迄) 無料

●6月25日(木)～28日(日)

写真同好会 「3回生展(写真同好会&京都産業大学写真部)」

Gellery Take two 11:00～19:00(最終日は17:00迄) 無料



障がい学生支援制度 サポートスタッフ大募集!

同じキャンパスで学ぶ障がい学生(Challenged)の立場に立って、責任をもって支援活動に取り組んでくださる方を募集しています。初めての方でもできることはたくさんありますので、ぜひスタッフに登録して、パソコン通訳・ノートテイク・映像字幕付け・代筆・車椅子介助などの活動にご協力ください。講習会や各種イベントなど、詳しくは障がい学生支援室HP(<http://challenged.doshisha.ac.jp/>)で随時お知らせしています。関心のある方は、障がい学生支援室までお気軽にお越しください。

【支援活動の内容】

聴覚障がい:パソコン通訳、ノートテイク、映像文字起こし・字幕付けなど

視覚障がい:ガイドヘルプ、代筆、代読、対面朗読、講義資料・試験問題の点訳、電子データ化など

肢体不自由:代筆、車椅子介助、トイレ介助、食事介助など

【謝礼】890円/時間

【お申し込み・お問い合わせ先】

学生支援センター 障がい学生支援室(京田辺・嗣業館1階)

TEL:0774-65-7411 E-mail:jt-care@mail.doshisha.ac.jp

学生支援センター 障がい学生支援室(今出川・寒梅館1階)

TEL:075-251-3273 E-mail:ji-care@mail.doshisha.ac.jp

(両校地とも障がい学生支援コーディネーターが常駐しています)

応援に行こう!～体育会試合日程

開催日時等は変更されることがあります。

【サッカー部】

関西学生サッカーリーグ

●6月14日(日) 対戦相手:大阪経済大学 場所:大阪商業大学(大阪府) 15:15

●6月21日(日) 対戦相手:追手門学院大学 場所:同志社大学 13:00

●6月28日(日) 対戦相手:大阪教育大学 場所:同志社大学 13:00

【トリアスロン部】

●6月21日(日) 近畿学生トリアスロン選手権大会 場所:愛知県蒲郡市 8:00～

●8月30日(日) 日本学生トリアスロン選手権観音寺大会 場所:香川県観音寺市

『響け！ユーフォニアム』

北宇治高校吹奏楽部へようこそ

プロデビューして2作目の小説がTVアニメの原作に

武田さんの最初の小説『今日、きみと息をする』が出版されたのは、2013年5月のこと。宝島社が主催する「日本ラプストリー大賞」に応募したことがきっかけだった。

「1年次に応募した作品が、最終選考まで残りました。結果的に大賞はいただけなかったのですが、編集の方に声をかけていただき、最初の小説を出版することになりました」。

小学生の頃から小説を書きはじめて、高校時代は文芸部だった武田さん。「同志社大学に入学し、大学生のうちに何か形に残したいと思い、1年で6つぐらいの小説賞に応募しよう」と計画を立てていました。その中で『日本ラプストリー大賞』は1回目の応募です。当時はプロとして本を書けるなんて想像もしていなくて、40歳ぐらいでデビューできればと思っていたので、自分でも驚きました。

この春からは、2作目の小説『響け！ユーフォニアム』を原作としたテレビアニメの放送がスタート。それに先立って、コミカライズされた同作品も書店に並び始めた。初回のアニメ放送で、自身が創作したストーリーやキャラクターが動くのを観た感想を聞くと、「ドキドキしながら観ました笑」。高校の吹奏楽部が舞台の小説ですが、アニメーションになると楽器の音が入るので、こんな感じに

なるんだと感動しました。丁寧に作ってくさって、感謝しています」。

自身も小・中学校時代は吹奏楽部だった武田さん。小学生で初めて金管バンドに入ったとき、最初に担当した楽器がユーフォニアムだった。「マイナーなこの楽器にスポットを当てたいなと思ってタイトルにしました。吹奏楽でしか使われない楽器なので、吹奏楽の経験がある人なら、心に響くのではと思ったことも理由です」。

中学校時代の吹奏楽部の後輩を集めて高校時代の思い出を取材し、それを土台とした同作品には、等身大の青春が描かれている。「後輩にも読んでもらったのですが、リアル過ぎて読めないと言われてしまいました(笑)。青春の爽やかな部分だけではなく、ほろ苦い部分も書きたいと思っているので。私は、そういったところが好きなんです」。

武田さんの学生生活を覗くと、小説の執筆をはじめ、美術部『クラマ画会』でイラストを描いたり、ゼミでは江戸時代から明治にかけて活躍した浮世絵師であり画家であった河鍋晩斎を研究中。さらに、4年次生となった今は就職活動が加わり、多忙な毎日。「書きたい作品が書ける環境になってきたいま、これから進路についてとても悩んでいます」。

人生の葛藤や苦しみも作品に投影していくのが作家の仕事。リアルさを追求する武田さんは、自身の経験一つひとつを創作の糧に、作品の中で昇華させていくのだろう。

武田 綾乃さん
【文学部美学芸術学科 4年次生】